

近年は人口流出や少子化などが進み、人員確保は難しい状態です。皆さんのご理解のもと、自分でできることは自ら行う「自助」隣近所で共に助け合う「共助」自助・共助ができなく公的機関が担う「公助」の役割分担と連携のもと、除雪をはじめとする地域課題の解消に努めていきたいと思えます。



谷藤 寧さん

**質問** 私は幌延町の観光について「その土地でしかできないものを行う」という考えに重点を置いた旅行、アドベンチャートラベルを宗谷管内で協力して行うというものに加え、ブルーポピーやぶどうを利用したハンドメイド体験、ふるさと納税を増やすため特産物を利用した食事会、トナカイ

との撮影会をつなげた写真立て作成などがいいと思います。

幌延町でしかできないアドベンチャートラベルを行うってはいかかですか。

**答 弁** 幌延町には個性的な観光資源があると私も思います。提案してくれたハンドメイド体験、特産品を活用した食事会、トナカイとのふれあい写真を飾る写真立ての作成、どれも魅力あるコンテンツになり得ると考えます。宗谷地域全体の売り込みで幌延町が推す



ぶどうの収穫風景



コンテンツ、見どころを検討している状況です。ガイドなどの人材育成は大きな課題ですが、まちが賑やかになる取組に間違いないので、商工会など関係機関と知恵を出し合って、検討していきたいと考えています。



田村 桔平 君

**質問** 私は現在の山村広場の遊具がほとんど使用されていない状況をよく目に

します。その理由は遊具に対する聞き取りが小学校低学年のみで、低学年層の意見のみ取り入れられ、遊べる対象が限られたと思います。このままだと子どもが外で遊ぶ機会が大幅に減ると思います。

そこで、低学年以外の子どもにもアンケートを実施し意見を取り入れれば、遊ぶ人が増えると思います。幌延町の子ども全員にアンケートを取ることで、結果を公園遊具充実に反映していただけますか。

と問寒別の小学校1、2年生の意見を取り入れて選定しました。

大きな遊具は色々な機能が付いていて、大きな子どもは楽しめますが、小さい子どもには「危なくて怖い」と感じることもあると理解してほしいです。今は予定ありませんが、先ほど新野くんから提案のあったようなアスレチック施設を整備することができれば、小さな子どもから大人まで楽しんでもらえると思います。

**答 弁** 以前の山村広場の遊具は現在のものと比較して大きく一度にたくさんの子が遊べる遊具でしたが、老朽化で安全が確保できず、専門家の診断で「危険な遊具」と指摘されました。老朽化した遊具を撤去し新たな遊具の設置を決め、遊具の選定は「小さな子どもが遊べる遊具」の設置要望が多かったため、当時の幌延



山村広場の遊具